

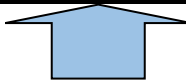
小中一貫教育 9年間の目標

社会的自立の基盤づくり
 ～互いに磨き合い、たくましく、心豊かな人づくり～



学校教育目標

たくましく、こころ豊かに生きる子の育成
 －強く・正しく 仲よく（校訓）－



本年度研究テーマ

自分の考えをもち、学び深めあう集団づくり
 －学ぶことに意義を感じ、自ら取り組む児童の育成－

研究課題

- 前年度からの引継ぎ ・ 2部会の継続（授業づくり・学級づくり）
 ・ 国語を中心に「書く」「読む（音読）」を柱とする

☆授業づくり「わかる」「気づく」「見つける」→「もっと知りたい」に向かう授業

- ◎「学ぶ意義」につなげるための手立て⇒授業の導入の工夫、課題設定
 課題とは、みんなで考えたい疑問であること
 自分にとって必要、役立つという認識や意識をもたせること
- ◎言語活動の充実⇒言葉を大切にする子 学習用語の積み上げ
 語彙力を広げる作文指導（言葉の宝箱の活用）
- 授業に向かう基本姿勢⇒聞く力の向上→聞き分ける力へ 自分と比べられる子
- 協働学習⇒ペアトーク、トリプルスタディ、グループでの話し合い、つなぐ発表
 講義型 < グループ討議 < 他者に伝える ※ラーニングピラミッド（記憶の定着）より
 教師が話しすぎず、子どもに考えさせる時間（思考の時間）の確保
- ふりかえり、ノートの使い方⇒何を学んだのか（自身の学びの変容を自覚・評価）
- それぞれの教科に対して意識調査（アンケート）
 楽しい・好きが増えるような指導ができたかを分析していく

☆学級づくり 読む力（音読）を育てる 音読の取組

- ◎音読 … 朝の会8：40分から（火水木一斉）2分間の音読（声出し）タイム
- 朝のモジュール … 対話スキル・読書・おの検定対策（基礎基本の定着）

○読書活動の推進 … なかよし読書，ふぁみりー読書，図書活動，読み聞かせ

○家庭学習 … 音読指導・自主学習の定着（家庭学習のすすめの活用）

自分の考えをもち、学びあう集団づくり

